

AM
11:00



★ 鈴鹿市白子漁港



津から移動して、鈴鹿市白子漁港へ。
150名以上の方が参加して、あっという間にEM団子の投入が終了。比嘉教授が到着した頃にはすでにEMの投入が終わっていましたが、比嘉教授に一目会いたいと、炎天下で到着を待っていた方も。比嘉教授のために残っていたEM団子をみんなで投入し、海の再生を願いました。



堤防の先に設置したトンネルから、白子漁協の港湾へ流れ出るEM活性液。今回のイベントだけでなく、白子漁協では、海の環境改善に向けての取り組みを継続しています。

PM
13:00

★ 四日市市オーストラリア記念館

四日市市オーストラリア記念館に到着。参加者にイベントを楽しんでもらう企画が盛りだくさんに用意されていました。海岸でのEM投入前に、比嘉教授と記念撮影をするために、四日市市で農華を営む小林忠平さん(本誌13号で紹介)が「美し国おこし三重 めちゃ☆Happy's」の皆さんを、比嘉教授に紹介。メンバーの皆さんは若い方が多くて、笑顔がめちゃ☆ハッピーで素敵でした。



四日市西ライオンクラブの皆さんも沢山の方が参加していました。皆さんやる気満々で、熱意が伝わってきました。



イベント開始で、大勢の方が海岸に参集。年々参加者が増加し、地域のイベントとして定着しつつあります(四日市地区全体では約1,300名が参加しました)。海がきれいになるように、「さあ! EM団子を投入するぞ!」と気合十分。2万5,000個のEM団子と3トンのEM活性液が投入されました。この様子は、中日新聞、伊勢新聞でも取り上げられました。

海の日

第3回全国一斉EM団子・EM活性液投入イベント ～比嘉教授の一日～

EM団子100万個
EM活性液1000トンの投入を目標に、
全国各地で、EMボランティアが集いました。

2012年7月16日海の日、朝から快晴。この日、比嘉教授は三重県津市の津なぎさまちイベント会場から、鈴鹿市白子漁港、四日市市オーストラリア記念館と、三重で開催されたイベント3会場に元気に参加。後半は名古屋市の名城公園の会場へ移動するまで、終始にこにこと比嘉スマイルで、参加したボランティアの皆さんと一緒に、イベントを楽しんでいました。今回は特集で、海の日比嘉教授の一日を同行取材しました。



2012.7.16

AM
10:00

★ 津市津なぎさまち



津なぎさまちでは、比嘉教授の到着でイベントがスタートしました。本誌13号で紹介した、かわさきFMのラジオ番組『内海利勝 LOVE&PEACE 同心空の下から』でDJを務める、ロックバンド「キャロル」の元リードギタリスト内海利勝さん(右)とエミィ松澤さん(左)も今回は比嘉先生に同行してくれました。



比嘉教授自身のEM団子投入です。EM開発者の比嘉教授の想いが海の浄化に拍車をかけてくれるでしょう。



準備されたEM団子は27,700個! 子供も大人も一緒に、日差しが強くなる中、精一杯遠くへ投げました。EM活性液も10トン投入。年1回の浄化イベントを楽しみにしている方もたくさんいらっしゃいました。

三重県